

高等教育改革と 卒業時の質保証

2019年
12/22(日)

13:00～17:00
(12:00開場)

会場



日本福祉大学
東海キャンパス

定員

200名
入場無料

愛知県東海市大田町川南新田 229 ※名鉄「太田川駅」徒歩5分
※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください

2016年度に文部科学省の「大学教育再生加速プログラム」(AP) テーマVの選定を受けて以降、19の採択校が社会に対して学生の卒業時の質を保証すべく、ディプロマ・サプリメントの発行や、学修成果の可視化、教育課程の体系化、ジェネリックスキルの測定と客観化など、様々な教育改革に取り組んできました。

本シンポジウムでは、各校の取組の成果・到達点を共有し、全国の高等教育機関および社会への普及につなげる機会とします。



PROGRAM

12:00～12:50 ポスターセッション(会場：1階ラウンジ)

13:00～13:10 第I部(会場：2階C201教室)

開会挨拶 齋藤真左樹(日本福祉大学 副学長)

13:10～14:10 取組成果報告

- ①「卒業時質保証の取り組み～ディプロマサプリメントの成果と課題～」
布川あゆみ氏(東京外国語大学 世界言語社会教育センター 特任助教)
- ②「何を《はかる》か——質保証の鍵」
関沢和泉氏(東日本国際大学 高等教育研究開発センター 副センター長 教授)
- ③「大阪工業大学における質保証の取組について」
椋平 淳氏(大阪工業大学 教育センター長 教授)

14:10～14:30 テーマVの取組総括(到達と課題)

中村信次(日本福祉大学 学長補佐・教授)

14:30～14:50 休憩

14:50～16:50

第II部 パネルディスカッション(会場：1階エントランスホール)
「社会が求める人材の変化と教育改革」

日本福祉大学、松本大学松商短期大学部、東北公益文科大学の取組を紹介しながらディスカッションを行います

16:50～17:00 閉会挨拶 中村信次(日本福祉大学 学長補佐・教授)

主催

大学教育再生加速プログラム テーマV採択校

山形大学、茨城大学、東京外国語大学、高知大学、鹿屋体育大学、大阪市立大学、兵庫県立大学、公立千歳科学技術大学、東北公益文科大学、東日本国際大学、東京薬科大学、東京都市大学、日本福祉大学、大阪工業大学、日本赤十字九州国際看護大学、東海大学短期大学部、山梨学院短期大学、松本大学松商短期大学部、徳山工業高等専門学校

お問い合わせ

日本福祉大学 AP事業推進本部
TEL：0569-87-2430(学務課)
Mail：16ap@ml.n-fukushi.ac.jp

お申し込み

次のお申し込みフォームよりお申し込みください。
※受付期限 12/20(金) 17時まで

<https://www.n-fukushi.ac.jp/ap/entry/symposium20191222/index.html>

